



ふるさとを思い 未来を拓く しらかべっ子

柳井中学校区しらかべネット「育てたい子ども像」



柳井市立
柳井中学校

学校だより
第6号



しなやか

令和5年7月20日発行

「情けは人の為ならず」～因果応報～

本日、終業式を行いました。1学期を終えるにあたり、生徒たちに次のような話をしました。

今日で1学期が終わります。みなさんにとって、どんな1学期でしたか。振り返ってみると、生徒会の皆さんを中心に新たなチャレンジ目標を掲げ、委員会活動などでいろいろなことに取り組んできました。5月には、3年生は修学旅行、2年生は職場体験、1年生は遠足と、各学年の行事がありました。どの行事も大成功でしたね。また、部活動では、各種大会やコンクールに向けて頑張ってきました。さらに、先日は、全ての学年でクラスマッチが行われ、みなさんの一生懸命に取り組む姿を見て、大変嬉しくなりました。始業式で「柳井中学校は生徒が主役の学校です。」とお話ししましたが、そのとおりになっていますね。

さて、「情けは人の為ならず」ということわざがあります。意味を知っていますか？「むやみに情けをかけるとその人の為にならない、だから情けをかけてはダメですよ。」という意味でとられがちですが、これは間違った解釈です。「情けをかけるという行為は、その相手のためでもあるけれど、実は自分のためでもある。善い行いは巡り巡って、自分に返ってきて、結局は自分のためになるのだ。だから、人に親切にしろ。」というのが本来の意味だそうです。

同じような言葉に「因果応報」という言葉があります。自分の行ったことは、善いも悪いも、自分に結果として返ってくるというものです。例えば、勉強を日々頑張れば、力が付き、結果として望んだ高校に入学することができる。ところが、勉強を怠けていけば、残念な結果になるということです。

さて、みなさんはこの1学期をどのように過ごしたでしょうか。勉強を頑張ったでしょうか。成果は表れたでしょうか。それ以外の部活動などではどうだったでしょうか。また、友達や家族など人に対してはどのようにふるまったでしょうか。人に優しくできた人は、きっと人に優しくされると思います。それはすぐに返ってこないかもしれませんが、優しくした人から直接返ってこないかもしれません。しかし、自分の行いは必ず巡り巡って、みなさん一人ひとりに返ってきます。それが、「情けは人の為ならず」であり、「因果応報」なのです。今日は終業式、そういう目で、1学期の自分自身をぜひ振り返ってみてください。

振り返ってみて、「自分は勉強を本気でやっていなかったな。」「もしかして、人を傷付けていたかもしれないな。」と思う人は、しっかり反省して、これから頑張れば良いと思います。人は変われます。そして、変わるチャンスが今日のような節目です。この夏休みは一つのチャンスです。これまでの怠けていた自分に別れを告げて、新しいスタートを切るのに丁度良い機会です。

理想の自分をイメージして具体的な目標を決めましょう。夏休みの約1ヶ月という時間は自分を変えるには十分な時間です。「苦手な教科の勉強に取り組み、苦手を克服する。」でも良いし、「されて嫌なことは絶対にしない。逆に、一日一回善いことをする。」でも良いと思います。また、「いつも助けてもらっている家族や地域の人のために、何かお手伝いする。」というのも素晴らしいと思います。ぜひ、自分の心に問いかけて、自分や周りにとって善いと思うことにチャ

福中美羽先生のお世話になりました！

柳井市立柳井中学校の福中美羽先生は、これまで自身は返もたまきて本校での勤務長年成果に2学期から周防県豊後郡新市立中学校(養護教諭)一段異職長なためあるも学期間大変お世話になりました。

<保護者の皆様>

一学期間大変お世話になりました。保護者の皆様のご理解のおかげで、お子様たちは学校で力一杯頑張りと、成長した1学期でした。夏休みには、ご家庭で過ごす時間が多くなります。ぜひ充実した夏休みを過ごされることを願っております。

また、本日「トイレ改修工事についてのお知らせ」「長期休業中の課題等における対話型の文章生成AIの利用について」、「PTA広報誌『琴石』」などを配布しております。ぜひ、ご確認いただきますようお願いいたします。今後とも本校教育へのご理解ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

